



のびのこちゃん

横浜市立竹山小学校 学校だより

あ お だ け



令和6年1月31日 2月号

たけまるくん

うるう年に寄せて

副校長 横山 喜利穂

令和6年も早1か月が過としています。冬休み明け、全学年で書き初めに取り組みました。1・2

年生は教室で硬筆、3年生以上は体育館で毛筆で書き初めを行い、できた作品を西階段踊り場と

校舎の4階に展示しました。4階には「春の海」が流れ、お正月の雰囲気も感じられる展示会場とな

りました。このような展示（作品展）は、子どもたちにとっても、他学年の作品も見ることができる

よい機会となりました。

さて、今年うるう年です。1年が366日となり、2月29日が追加されます。一般的には、4

年に一度、うるう年がやってきます。これは、1年が365日となっていますが、実は365.24

22日で地球が太陽の周りを1周するので、毎年約6時間の差ができてしまうのを調整するために、

4年に1日（6時間×4＝24時間）追加しているからです。紀元前1世紀のローマで「西暦の年号

が4で割り切れる年」をうるう年と決められました。さらに、うるう年を設定することによって、1

年につき11分の増やしすぎになってしまうので、16世紀には「西暦の年号が100では割り切れる

が400では割り切れない年」はうるう年にならないというルールが決められました。

まだまだ、うるう年に関して疑問に思うことがたくさんあります。「なぜ2月に追加するのか」「ど

うして、うるう（閏）というの？」など。当たり前になんとなく過ごしていた物事に一度立ち止まっ

て「なぜ?」「どうして?」と興味・関心、疑問をもち調べていくと、新しい知識と出会いさらに次の

疑問が生まれていき、世界がどんどん広がっていきます。「うるう年」から、算数や数学の見方や考え方

を生かした暦の仕組みや古代ローマの太陽暦、天体へと知識が広がっていきました。ここに学習の

面白さがあります。

日々の学校での学習も、疑問をもち自ら学習に向かう子どもたちの姿を大事にしていきたいと

思います。ご家庭でも、子どもの興味・関心が広がるように「なぜ?」「どうして?」の疑問を大切た

会話を心がけていただけるよう、お願いいたします。